高等学校 × 専門学科（農業・工業・商業・水産・看護・福祉）

専門学科（農業・工業・商業・水産・看護・福祉）どこが変わる？

まず現行と次期をマーカーで比べ、そのあと現行の解説（公式PDF）を読めます。



変わる所 8項目　解説PDF 6件

10秒でいうと

全専門教科でAI・データ活用と経営の学びを充実。課題研究は履修学年を示さない

農業・工業・商業など、専門高校で学ぶ専門教科の話です。学習指導要領の書き方を「何ができるようになるか」が分かる形に改める方向です。職業に関する全ての教科で、AIやデータサイエンスを使った学びと、経営やビジネスの学びを充実させる案です。産業界との連携は、出前授業などの単発で終わらせず、続く協働にすることが求められています。課題研究も、学校が柔軟に組めるよう見直す方向です。

どこが変わる？現行⇔次期（高等学校）

黄色のマーカー＝次期で新しく入る・強調される言葉　~~赤の取り消し線~~＝現行から消える・変わる言葉

学習指導要領の内容の示し方

現行

各科目の内容が「〔指導項目〕を指導する」という指導項目ベースで示されている（例：建築構造「（１）建築構造の概要」）。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「**何ができるようになるか**」の視点から**資質・能力ベース**の書き方に改めるべきとされた。「知識・技能」と「思考・判断・表現」を並べた表の形で示す案。

P288　P293　※工業「建築構造」の現行と改善イメージの例は資料編m4 P69（産㉑）

資質・能力の観点の名前

現行

専門教科では「知識及び技術」という観点を使ってきた。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「**知識及び技能**」とし、三つの柱を「知・技」「思・判・表」「学びに向かう力」の表現に整理するべきとされた。

P288

「課題研究」の位置づけ

現行

実践的・探究的な学びは主に卒業年次の「課題研究」で行われ、内容は「指導事項」ベースで示されている。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

解説で履修学年を示さず、探究課題・指導内容は各学校に委ねる方向。内容は身に付けるべき資質・能力や**配慮事項**中心とし、**導入段階**で実社会・実生活の課題を探究する活動を入れるべきとされた。

P288 P289 ※現行と改善案の科目配置イメージは資料編m4 P68（産⑳）

専門教科による「情報Ⅰ」の代替

現行

「同様の成果が期待される場合」に代替が認められ、解説では各専門教科の情報に関する科目で「情報Ⅰ」と代替することが例示されている。多くの専門学科で代替が行われている。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

代替の規定自体は妥当としつつ、**安易な代替**が行われないよう解説の例示の記述を見直し、代替する場合の**配慮事項**をさらに示す方向。

P289 P100

ホームプロジェクトの授業時数への充当

現行

総則で、ホームプロジェクトについて各教科・科目の授業時数の10分の2以内を充てることができるとされている。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

この**規定を削除**し、必要な場合は関連する科目や学校外の学修の**単位認定**などで単位として認める方向。

P100

産業界等との連携

現行

約90%の専門高校で取り組まれているが、数回の出前授業や講演にとどまるなど、単発的で学校全体として持続的になっていない例がある。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

共通の目的を共有し、計画から評価まで一貫した**持続的**な協働関係をめざす。「課題研究」などで**取扱いを明示**する必要があるとされ、**外部人材からの評価材料**も積極的に加味する方向。

P287 P288 P298 P299

産業教育の目標（思考・判断・表現）

現行

これまで産業教育では「倫理観」や「合理的」という要素を重視してきた。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「倫理観」「合理的」は引き続き示しつつ、データを集めて分析し考察することを前提に「**科学的な根拠に基づいて探究**」することを新たに明示し、「**合理的かつ創造的**に解決する力」を養うとする目標の案が示された。

P291 ※目標・見方・考え方の素案と各教科の見方・考え方イメージは資料編m4 P49（産①）

専門教科「情報」の科目構成

現行

本文に現行の情報科の科目構成の記述がないため current は空欄

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「**データサイエンス、AI**」分野を新設する方向で科目構成を整理し直す。「情報システム・構築分野」「情報デザイン・社会表現分野」「データ・AI分野」それぞれに「**基礎的な科目群**」と「**統合・発展科目**」を新設して構造化する案。

P296

現行の解説を読む（公式PDF）

いまの高等学校の専門学科（農業・工業・商業・水産・看護・福祉）の解説です（文部科学省のPDFが新しいタブで開きます）。

PDF **農業編**
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 農業編

PDF **工業編**
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 工業編

PDF **商業編**
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 商業編

PDF **水産編**
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 水産編

PDF **看護編**
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 看護編

PDF **福祉編**
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 福祉編

学習指導要領の本文

PDF **高等学校学習指導要領（平成30年告示）**
全教科の目標・内容（この教科は第2章）

もっとくわしく

専門学科（農業・工業・商業・水産・看護・福祉）の変更点（くわしく） **新旧比較（全校種）**
高等学校の先生へ **資料室（高等学校のほかの教科）**

出典：中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会「次期学習指導要領等に向けた審議まとめ」（2026年10月5日）。**P○** は本体PDFのページ、**資料P○** は資料編のページ（クリックで該当ページが開きます）。

© 原田英語.com 次期学習指導要領ナビ（https://www.haradaeigo.com/jikigakushushido/）｜高等学校 専門学科（農業・工業・商業・水産・看護・福祉）：どこが変わる？（マーカー比較）
｜研修・校内での印刷・配布OK（連絡不要）